

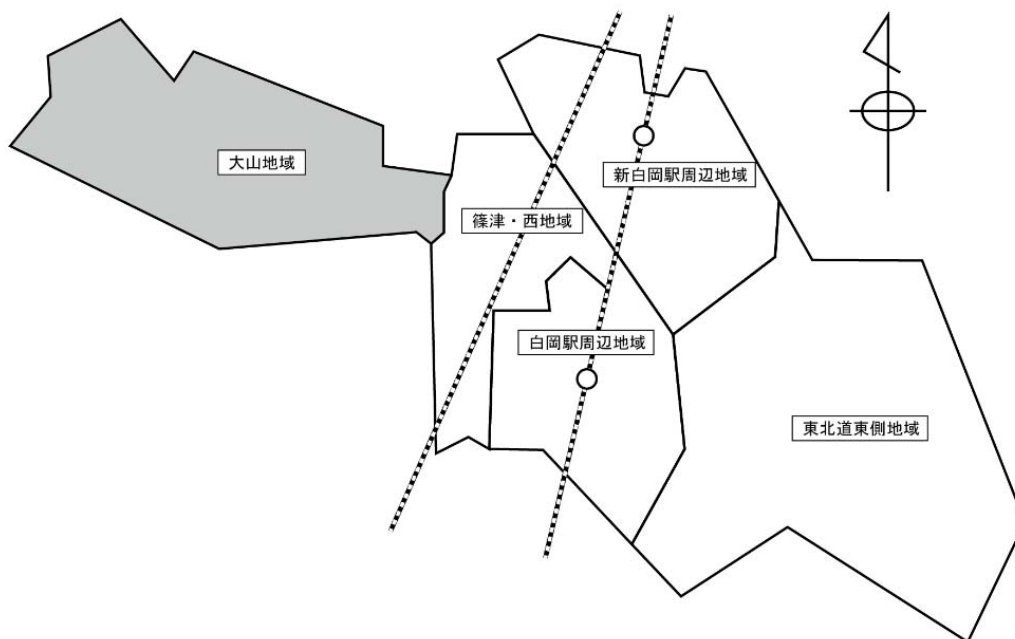
## 第7章 地域別構想

### 1 大山地域

#### (1) 地域の概要

- 本地域は、本市の北西部に位置し、元荒川、野通川、星川、見沼代用水などの河川に囲まれており、地域の西から東へ隼人堀川が流れ、地域のほぼ中央に柴山沼が位置するなど、水辺環境に恵まれた地域です。地域の南側は蓮田市、北側は久喜市にそれぞれ接しています。
- 地域のほとんどは、古くからの農地及び集落地となっており、緑の多いのどかな田園風景が広がっています。
- 圏央道の県内区間が全線開通したことにより、白岡菖蒲インターチェンジを中心として広域物流拠点としてのポテンシャルが高まっています。
- 地域のほぼ中央に位置する柴山沼は、農業用貯水池、洪水調節池としての機能を有するだけでなく、コイやフナ釣りの名所として知られています。レクリエーションの場としても利用されており、休日には、周辺市町からも多くの人々が訪れる観光スポットとなっています。
- 地域面積は約510haで、本市全域の約21%を占めています。

#### ●本市全域における大山地域の位置



## (2) 地域の現況と課題

### ① 人口に係る現況と課題

#### 【現況】

- ・地域内人口は約1,900人で、本市総人口の約4%を占めています。

#### 【課題】

- ・少子高齢社会に配慮した、既存集落を維持するための土地利用の誘導が必要となっています。

### ② 産業に係る現況と課題

#### 【現況】

- ・地域の東側の工業専用地域に近接する白岡西部産業団地は、埼玉県の田園都市産業ゾーン基本方針に基づく先導モデル地区として、田園環境と調和した産業基盤が整備されています。

#### 【課題】

- ・「第5次白岡市総合振興計画」に位置づけられている工業ゾーンや工業系産業誘導区域等の新たな産業系土地利用の実現化に向けた調査・検討が必要となっています。

### ③ 土地利用に係る現況と課題

#### 【現況】

- ・地域全体に市街化調整区域※が広がっていますが、地域の東部では市街化区域※の工業専用地域に指定されています。
- ・地域のほぼ中央に位置する柴山沼は、良好な親水空間を有しており、本市のみならず周辺市町から多くの人々が訪れる観光スポットになっています。
- ・スポーツ施設や公園等が他地域と比較して少なく、地域全体に主な公共・公益施設が分散し、生活利便施設が不足しています。

#### 【課題】

- ・圏央道の県内区間が全線開通したことにより、白岡菖蒲インターチェンジを核とした産業や観光・レクリエーションの拠点の形成を目指していくことが望まれます。
- ・将来にわたって自然環境を守っていくため、保全する農地としての位置づけや柴山沼などの水辺環境を活かしたまちづくりが必要となっています。
- ・地域における人口を維持していくため、地域独自の資源の掘り起こしが必要となっています。

#### ④ 交通体系に係る現況と課題

##### 【現況】

- ・国道、県道は、いずれも地域を南北に縦断しており、地域を東西方向に結ぶ幹線道路は南北埼玉広域農道（稲穂通り）、都市計画道路篠津柴山線となっています。
- ・バス路線は運行本数が少なく、都市計画道路※で結ばれる新白岡駅にアクセスするバス路線網が整備されていません。

##### 【課題】

- ・デマンド型の「のりあい交通※」が整備され、交通弱者の方の利便性の向上と持続可能なサービス提供が図られるようになりましたが、今後もバス路線網の確保など利便性向上のための検討が必要となっています。

#### ⑤ 水と緑に係る現況と課題

##### 【現況】

- ・水田や梨園など優良な農地が広がり、集落地では屋敷林、寺や神社の樹木などは地域のシンボルとなっています。
- ・柴山沼をはじめ、元荒川、隼人堀川、見沼代用水など、良好な水辺環境に恵まれています。
- ・地元住民による植樹や草刈りなどが各所で行われ、環境美化に対する意識が高まっています。

##### 【課題】

- ・優良農地の確保、屋敷林や樹木などの保全及び管理により、緑を守っていくことが必要となっています。
- ・河川や公園の整備を行い、地域全体において、水や緑の持つ機能を効果的に活かせる公園等を巡る緑のネットワークの形成が必要となっています。
- ・周辺市町からも多くの人々が訪れる柴山沼は、地域のシンボルとして保全していくことが望まれます。
- ・今後も住民参加による緑の保全、創出、育成活動を推進していくため、住民・企業・行政による協働のまちづくりが必要となっています。

## ⑥ 防災に係る現況と課題

### 【現況】

- ・ 本地域を囲んでいる元荒川、野通川、隼人堀川などの河川が未整備なため、大雨時には水害の恐れがあります。
- ・ 指定避難所は地域の北西部に位置する大山小学校のみであるため、地域の東部及び南部においては、指定避難所までの距離が離れています。
- ・ 農地が多く、住宅が密集していないため、火災時の延焼の危険性は低くなっています。
- ・ 国道122号は、国が定める優先啓開ルートの候補路線として指定されています。

### 【課題】

- ・ 雨水排水など総合的な治水対策のための河川改修が必要となっています。
- ・ 指定避難所等へのアクセスルートとなる道路の整備・改善が必要となっています。

## ⑦ 景観に係る現況と課題

### 【現況】

- ・ 良好な農地や屋敷林、生け垣等に囲まれた広々とした住宅が点在し、緑豊かな景観を形成しています。
- ・ 本地域は、柴山沼など良好な親水景観を形成し、良好な自然景観が残っています。

### 【課題】

- ・ 農地や屋敷林、生け垣等の緑豊かな景観の維持・保全が必要となっています。
- ・ 地域内外から多くの人を訪れる柴山沼等は、水辺環境を活かした良好な景観づくりが必要となっています。
- ・ 市街地開発に当たっては「埼玉県景観条例」、「埼玉県景観計画」を踏まえ、自然景観、都市景観に配慮が必要となっています。

## ⑧ 福祉・その他の生活環境整備に係る現況と課題

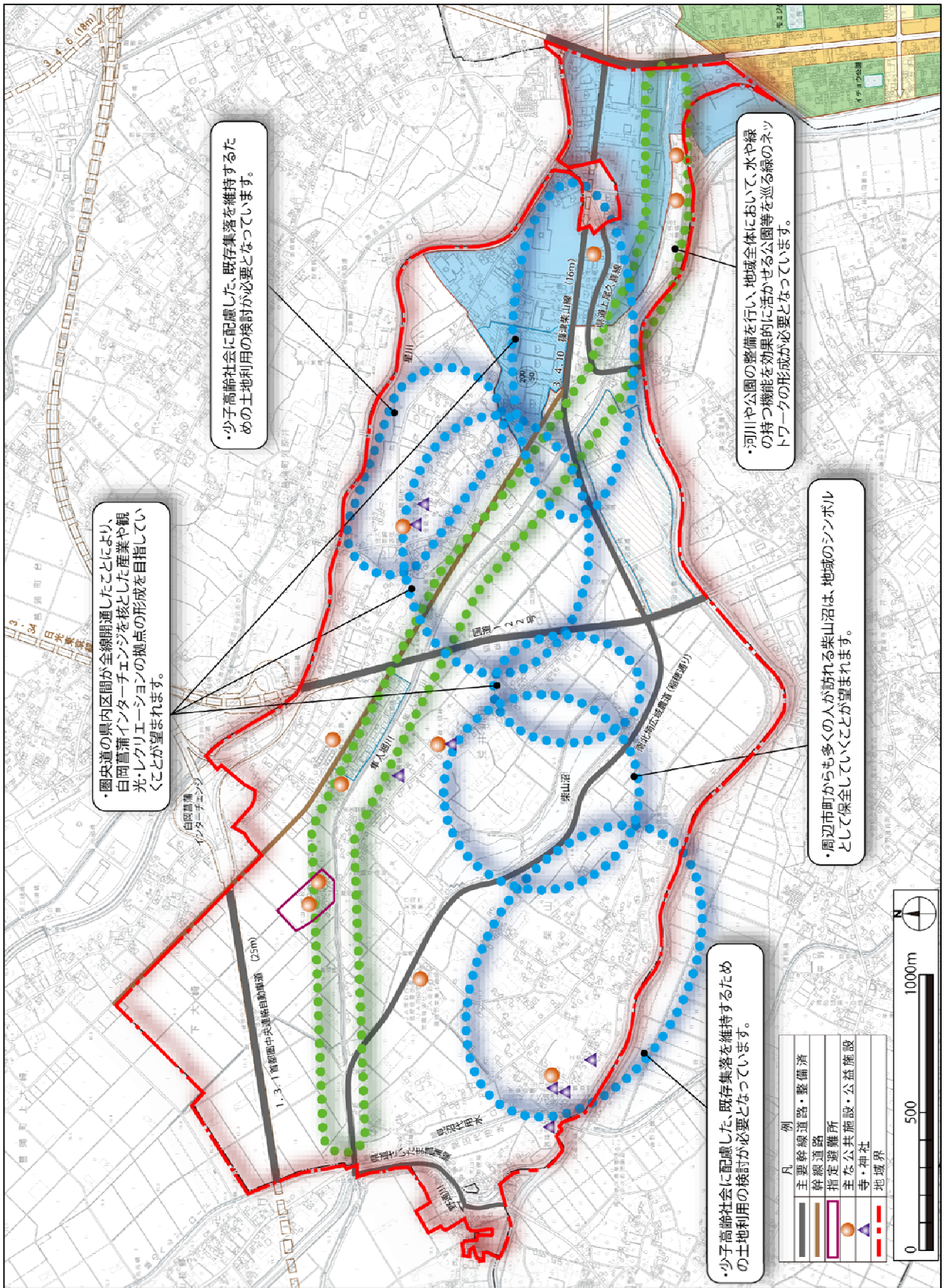
### 【現況】

- ・ 国道122号付近に位置するテクノパーク白岡地区及び白岡西部産業団地地区、地域東側の白岡物流センター地区は、地区計画※により、地区施設の適切な配置、建築物等の用途の規制、誘導を推進しています。

### 【課題】

- ・ 既存集落においては、地域住民の生活利便性向上に資する商業サービス施設等の誘導を図り、良好な住環境を確保することが必要となっています。

●現況及び課題図 大山地域



### (3) 地域の目標(将来像)

#### 「観光・レクリエーション拠点」の形成、「産業拠点」での企業誘致と優良な農地によるのどかな田園風景の保全

- ・白岡菖蒲インターチェンジ及び柴山沼周辺の交通利便性を活かした「観光・レクリエーション拠点」の形成を図ります。また、白岡西部産業団地周辺の「産業拠点」においては、企業の誘致を図ります。
- ・地域全体としては、農地に囲まれた集落地、優良農地による田園風景と観光・レクリエーション活動が調和できる空間を目指し、生産性の高い農地の保全を図ります。

### (4) 整備方針

#### ① 白岡菖蒲インターチェンジ周辺の開発、柴山沼周辺の観光・レクリエーション拠点整備と営農環境の維持・保全

- ・白岡菖蒲インターチェンジ周辺及び国道122号沿道においては、地域振興に寄与する沿道型サービス施設の誘導を検討します。
- ・白岡西部産業団地周辺においては、新たな企業の誘致の場として、国道122号へ至る産業系土地利用の拡大を図ります。
- ・柴山沼周辺は、白岡菖蒲インターチェンジ付近に位置する立地性と豊かな自然を活かし、多くの人が余暇を楽しめるような公園・緑地の維持・保全を図ります。
- ・柴山、荒井新田、下大崎の既存の集落地においては、水辺環境と住環境との調和を図り、優良農地については、今後とも農業振興を図るため維持・保全します。

#### ② 観光・レクリエーション拠点及び産業拠点へのアクセス道路整備やバスネットワークの形成などによる地域内交通の円滑化

- ・柴山沼周辺は、余暇を楽しむ場として多くの人が訪れることが想定されることから、白岡駅や新白岡駅へのアクセス道路を活かした、バスネットワークの形成を促進します。

#### ③ 柴山沼、隼人堀川、元荒川等の水辺環境や屋敷林・生け垣などの維持・保全

- ・良好な水辺環境を有している柴山沼、隼人堀川、元荒川、見沼代用水等においてはその保全を図ります。
- ・柴山、荒井新田、下大崎の集落においては、屋敷林、生け垣などの維持・保全を図ります。
- ・柴山沼周辺においては、豊かな親水空間や水辺環境を活かして、水質の維持や生態系の保全を図ります。
- ・元荒川や隼人堀川沿いは、「水と緑のネットワーク」として位置づけるとともに、

遊歩道として整備し、柴山沼を一周する散歩道や見沼代用水沿いの「緑のヘルシーロード」を結び、緑化の推進を図ります。

#### ④ 安全に避難できる環境整備とコミュニティ単位の防災体制づくり

- ・農地や緑地の保全によりオープンスペースを確保するとともに、主要な生活道路の拡幅、指定避難所案内図を設置するなど、安全に避難できるような環境整備を図ります。
- ・災害緊急時に救急、救助、救援活動等が速やかに行えるように、コミュニティ単位の防災体制づくりを強化し、防災面での地域のつながりを高めます。

#### ⑤ 水辺沿いのうるおいのある景観づくり

- ・遊歩道については、舗装の改善・整備を進めながら、景観に配慮した植栽、ベンチなどの設置等を進めます。
- ・柴山沼、元荒川、隼人堀川については、水辺沿いの緑地景観を保全するとともに、河川改修等に合わせうるおいのある景観づくりを推進します。

#### ⑥ 地域の定住を促進できる小さな生活拠点づくり

- ・地域住民の生活利便性の向上に資する商業サービス施設等の誘導を図り、「持続可能な生活拠点づくり」を目指します。
- ・国道122号と柴山沼の交差点付近では、物産品の販売や観光情報を提供する拠点施設等を整備し、地域の生活拠点の場及び周辺市町から訪れる人にとって交流の場となる空間の創出を目指します。

●まちづくり方針図 大山地域

